

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立相武台公民館運営協議会				
事務局 (担当課)		生涯学習部 相武台公民館 電話 0 4 6 - 2 5 6 - 3 7 0 0				
開催日時		令和 6 年 2 月 2 9 日 (木) 1 9 時 0 0 分 ~ 2 0 時 5 8 分				
開催場所		相武台公民館 2 階 大会議室				
出席者	委員	1 6 人 (別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	2 人 (館長代理、主事 1 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
議 題		(1) 令和 5 年度公民館事業実施状況及び 令和 6 年度公民館事業計画(案)について (2) 相武台公民館創立 5 0 周年記念事業について (3) 令和 5 年度相武台公民館表彰等について (4) 令和 6 年度自主企画提案事業について (5) その他 ア 令和 5 年度運営協議会委員等研修の結果について イ 令和 6 年度運営協議会予算(案)について ウ 令和 6 年度運営協議会の開催日程について エ その他				

協 議 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(〇 は委員の発言、 △ は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

宮本会長からあいさつがあった。

3 会議の傍聴

傍聴希望者はいなかった。

4 議題

高橋副会長が議長となり議題を進行した。

(1) 令和 5 年度公民館事業実施状況及び令和 6 年度公民館事業計画(案)について

- ・各専門部、ちょっとだけ先生運営委員会、利用者協議会及び事務局から順次、説明を行い、了承された。
- ・公民館事業に関して、委員の間で助言や意見交換が行われた。

(意見等)

保育部は現在の部員は 6 名だが、令和 6 年度から 3 名に減ってしまう。毎月 1 回の保育室開放は部員の負担が重いので、現行の保育部員が付き添って月 1 回開放する方法から、部員が付き添うことなく保育室を常時開放し、随時お子さんが遊びに来てもらう方法へ変更する可能性を含めて検討している。サークルの入れ替わりが多い印象で、今年度の公民館まつりでは、これまで出演していたサークルがなくなった一方で、新しいサークルの申込みがあり昨年度と同数程度のサークル数が出演することになり、また、従前と異なった内容になる見込みにある

利用者協議会は運営委員になってくれる人の確保に苦慮している。サークル数は回復しているようであるが、高齢化が進んでおり、公民館まつりの運営や手伝いをしてくれる人が減っている。

青少年育成協議会は青少年の健全育成を目的とした事業を行っているが、公民館や児童館で行っている事業には「家庭環境が良好で健全に育った子ども」が参加している。課題を抱えている子どものために、どのような事業のかたち・方法が良いのか悩んでいる。

相武台地区青少年育成協議会は、地域の関連団体から協力を受けてうまく運営ができています。今年度は公民館の協力を受けて全 4 回のけん玉学校を順調に開催できている。相武台ではけん玉が昔から定着しており、来年もけん玉学校を継続して実施したいと考えている。けん玉を通して、みんなが集まる事業をうまく展開していきたい。

今年度の「けん玉学校」は、子どもの参加数が想定していた人数より少ない

のが残念。子どもが参加するにあたっては、興味とともに距離が重要だと思う。要するに自宅からどれだけ近いところで遊べるかということが非常にウエートが高いと思う。先日、児童館で平日の午後で開催した工作展には約80名が参加した。公民館が「けん玉学校」の会場として適当なのかということを含めて、どのようにして子どもの参加を促していくかが一番の検討課題だと思う。

けん玉学校では、子どもに対してどのような周知方法を行ったのか。また、すべて土曜日に実施しているので、開催する曜日を検証したらどうか。子どもたちは塾や習い事等で忙しく、曜日・日時・場所（会場）が定まっている事業に参加しにくいという意見が、前回の運営協議会で意見があった。

周知・募集用チラシを小学校4校（相武台小・緑台小・もえぎ台小・若草小）と中学校1校（相武台中）に協議会の会員が直接持ち込み、すべての児童・生徒に届けた。また、けん玉学校で参加者アンケートを行っており、来年度の事業を計画するにあたって、アンケート結果を参考にして開催日時（平日・土日・午前・午後等）や会場を検討していく。

青少年育成協議会のふれあい事業分担金を活用している事業については、チラシ・ポスターに「青少年育成協議会の共催又は後援」の旨を必ず表示してもらいたい。

（2）相武台公民館創立50周年記念事業について

- ・事務局から、「相武台公民館創立50周年記念事業実行委員会」における記念事業に係る検討内容及び進捗状況について、事務局から報告した。

（意見等）

- ・特になし

（3）令和5年度相武台公民館表彰等について

- ・事務局から、令和5年11月17日（金）に、相武台公民館表彰規約に基づく表彰選考委員会を実施し令和5年度相武台公民館表彰（感謝状）贈呈者を選出したこと及び感謝状贈呈式を令和5年度相武台公民館まつりの開会式の席上で行うことを説明し、了承された。

（意見等）

- ・特になし

（4）令和6年度自主企画提案事業について

- ・事務局から、「相武台公民館自主企画提案事業実施要領(案)」及び実施スケジュール(案)について説明した。ちょっとだけ先生事業と自主企画提案事業との関係性についての意見交換が行われたうえで委員全員の了承を得て、原案のとおり令和6年に自主企画提案事業を実施することが決まった。

（意見等）

自主企画提案事業はちょっとだけ先生事業と似ている。相武台公民館のちょっとだけ先生事業が、他の公民館に先駆けて長い実績があるというのならば、これを生かし、自主企画提案事業を新しく行わなくても良いのではないか。ちょっとだけ先生事業に、自主企画提案事業のやり方や仕組みを取り入れれば良いように感じる。

ちょっとだけ先生事業には長い実績がある。他の公民館から自主企画提案事業の事例報告を聞いたことがあるが、ちょっとだけ先生事業の内容とあまり変わらないとの印象を受けた。また、数年前に、ちょっとだけ先生事業の事例発表をしたときには、他の公民館から素晴らしい事業だと言われた。このことから、自主企画提案事業を新たに実施するよりも、ちょっとだけ先生事業の仕組みを変更して継続していく方が良いのではないか。ただし、市が自主企画提案事業を実施することを求めているのであれば実施しても良いと思う。

自主企画提案事業の「市民が培った知識・技能や活動成果等を地域に還元する」という考えはちょっとだけ先生事業と同一であり「ちょっとだけ先生事業は、自主企画提案事業と同じ出発点から先行して実現した別のかたちの事業」と捉えることができる。一方、ちょっとだけ先生事業は長い歴史・実績を通して現在の組織・仕組みが出来上がっており、自主企画提案事業と異なる部分がある。例えば、ちょっとだけ先生事業では「個人が登録し、ちょっとだけ先生運営委員会を組織する。毎年度、各先生が事業企画書を運営委員会に提出し、運営委員会が協議して事業を採択する仕組み」となっている。他方、自主企画提案事業では「地域の団体又は個人が公民館へ事業の申込をし、選考会で申込事業を選考する仕組み」となっている。自主企画提案事業は、ちょっとだけ先生事業と共存・並立が可能であり、地域の住民にとって自らの知識・技能等を活用する機会・選択肢を増やすものであると考える。いずれにしても、自主企画提案事業が相模原市教育振興計画により全ての公民館で実施するものと位置付けられていることから、相武台公民館では令和6年度から実施する必要がある。

ちょっとだけ先生事業の仕組みの中に、自主企画提案事業の仕組みを取り入れて継続していくのはどうか。相武台公民館では自主企画提案事業を「ちょっとだけ先生事業」の名称で実施していくという方法もある。

ちょっとだけ先生事業では各先生が年1回の講座を行っているが、令和6年度事業計画(案)を見ると、複数回に渡って実施した方が、参加する住民にとって充実した内容になると思われる講座がある。自主企画提案事業の仕組みに合わせて、複数回の講座を実施するように変える方法もある。

ちょっとだけ先生事業と自主企画提案事業とでは仕組みが大きく異なり、ち

よっとだけ先生事業を自主企画提案事業に合わせるとするのは非常に難しい。よっとだけ先生事業は「地域の知識ある方の知識・技能等を“よっとだけ”活用して講座を行ってもらおう」というシンプルな目的を基本としている。また、なるべく多くの先生に講座をやってもらいたいと考え、1名の先生が年1回の講座を担当する体制になっている。仮に自主企画提案事業の仕組みを取り入れて、ある先生が複数回の講座を行うことになると、よっとだけ先生事業の本来の目的から外れ、体制も大きく変わってしまう。

よっとだけ先生事業は相武台公民館独自の誇るべき事業として守り続けていくものと考えている。そのうえで、自主企画提案事業は、地域住民の知識・技能等を活用する機会・選択肢を増やすものとして、よっとだけ先生事業と棲み分けをしながら実施していくことが可能であり、また実施する必要があると考える。ただし、相武台地域にどれだけの人材・ニーズがあるのかは、自主企画提案事業を実施してみないと分からない。他公民館の実績をみると、応募数が多い・少ないなど、地域によって応募状況が異なる。相武台公民館でも、まず自主企画提案事業を実施し、その応募状況等をみて、相武台地域に適したやり方へと仕組みを整えていくことが大事だと考える。専門部の事業においても、自主企画提案事業の考え方を取り入れ、地域外から講師を招くのではなく地域住民を講師とし、複数回の連続講座等を実施する方法もあると思う。

自主企画提案事業はよっとだけ先生とは別の話であり、「自分の知識や技能等を生かして何かやりたい」と考えている地域住民の受け皿となる事業である。先によっとだけ先生事業があるとしても、よっとだけ先生に登録していない住民や普段は公民館で活動していない住民が自分の発表する場・機会を設けよう・増やそうという考えに反対する理由はない。地域住民の知識・技能等を活用する機会・選択肢を増やそうという試みは実施すべきだと考える。

自主企画提案事業は「これまで講師をやったことはないけど、講座をやってみたい」という地域住民が応募するものであり、その応募の機会は設けるべきと考える。また、よっとだけ先生に登録している方も、自主企画提案事業に応募しても良いと思う。

よっとだけ先生登録者でも、自主企画提案事業に応募する人がいると思う。令和6年度に自主企画提案事業を実施したとして、もし応募がなかった場合にはどうなるのか。追加で募集をするのか。

応募がなければ令和6年度の募集は終了する。追加の募集はしない。

(5) その他

ア 令和5年度運営協議会委員等研修の結果について

・事務局から、令和5年度運営協議会委員等研修会の実施結果について報告した。研修対象者は、第2回運営協議会における委員の意見を受けて運営協議会委員、専門部員、ちょっとだけ先生運営委員会委員、利用者協議会運営委員会委員とし、多くの参加者と活発な意見交換があり、本研修が所期の成果を得たことを説明し、了承された。

・今後の研修の計画に関して、令和6年度に相武台公民館創立50周年記念事業を実施することから、運営協議会委員の負担及びスケジュールに勘案し、令和6年度の運営協議会委員研修を休止することを事務局から提案し、了承を受けた。次回の運営協議会委員研修は令和7年度以降に実施することとなった。

(意見等)

・特になし

ウ 令和6年度運営協議会の開催日程について

・令和6年度運営協議会の開催日程について、事務局から候補日時等を提案し、委員の了承のうえ次のとおり決定した。

第1回運営協議会

令和6年 6月27日(木)午後7時から

第2回運営協議会

令和6年11月28日(木)午後7時から

第3回運営協議会を

令和7年 2月27日(木)午後7時から

エ その他

(ア)「公民館行事の月間予定表」の作成・掲示について

・事務局から、第2回運営協議会での提案を受け、「公民館行事を月毎にまとめた一覧表」を作成し、11月下旬から公民館入口付近に掲示していることを説明した。

(イ)運営協議会委員の補充について

・令和6年度運営協議会委員について、公募又は学識経験者の枠で1名程度を補充することが決まった。

(意見等)

運営協議会委員の人数は、令和4年度まで20名だったものが令和5年度で19名に減少している。令和6年度の運営協議会委員を確保するために、公募又は学識経験者の枠で1名程度を補充する必要があると考える。

(ウ)その他

小学校の様子などを教えていただきたい。

相武台小学校の子どもの様子を見ていると、とても素直で、身近な大人を強く信頼していると感じる。また、登校時間等に校長が門に立って子どもを迎える際に、通行する地域の方からも「おはようございます」「ご苦労さまです」などのあいさつをたくさんいただいており、地域全体が子どもを大切に見守っていることに力強さを感じる。

7 閉会

桑原副会長のあいさつで閉会となった。

以 上

相武台公民館運営協議会委員出欠席名簿

	氏名	選出団体等	役職等	出欠席
1	宮本 憲雄	公民館長	会長	出席
2	大塚 善行	相武台公民館区小・中学校長		出席
3	桑原 勝利	自治会連合会	副会長	出席
4	右田 隆一	自治会連合会	会計	出席
5	長堀 直美	自治会連合会		欠席
6	高橋 孝雄	社会福祉協議会	副会長	出席
7	荻原 正人	青少年育成協議会		出席
8	安重 悠子	緑台小学校 P T A		出席
9	宮村 七未	相武台中学校 P T A		出席
10	佐藤 あつ子	利用者協議会		出席
11	岡本 英夫	体育部	書記	出席
12	川島 梨乃	青少年部		出席
13	堀口 眞弘	文化部	書記	出席
14	小野寺 勝弘	広報部		欠席
15	滝沢 寿美子	保育部		出席
16	高橋 ぎいち	ちょっとだけ先生運営委員会		出席
17	永井 保子	公民館長推薦	会計監査	出席
18	佐藤 順子	公 募		出席
19	丸山 由紀子	公 募		欠席

公民館職員：高橋雅広(館長代理)、石井あゆ子(主事)